

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

*3月号 藤原帰一「ポピュリズムをどう考えるか」 吉川洋「2018年日本経済の課題」 田中秀征「保守本流と自民党本流」

*2月号 寺島実郎「2018年への視座」 進藤榮一「トランプ以後の世界はどこへ行くのか」 連欧連亜のすすめ」 嶋中雄二「2018年日本経済の展望」

*1月号 水島治郎「ポピュリズムの時代なのか——岐路に立つ現代デモクラシー」 高原明生「第19回党大会後の中国」 佐和隆光「文系軽視・理系偏重は国を減ぼす」

減ぼす」

【編集後記】

習近平、プーチンなど強権的な政権の長期化が顕著になっていきます。トルコ、フィリッピン、チェコでも、次々に強権政治が力を得ています。民主主義は選挙を通じて国民が政権を選択することが肝ですが、正しい選択をするためには、十分な情報を持ち、まっとうな物の考え方を身に着けた選挙民が必要不可欠です。自由で自立した市民が存在しなければ、民主主義は国家主義に飲み込まれてしまうでしょう。

次号は、原田伊織氏「明治維新という《過ち》から何を学ぶか」、川島博之氏「戸籍アパルトヘイト国家、中国の未来」、歳川隆雄氏「今春以降の国内外情勢」、浜矩子氏「グローバル経済の行きはよいよい帰りは恐い」を掲載する予定です。

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2018年4月号)

2018(平成30)年4月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋憲一 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社

編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉